

西表島で体験したことやおどろいたこと

桜町小・4 林 愛菜

わたしは七月に西表島に行きました。飛行機やフェリーに乗って家から西表島まで八時間かかりました。

西表島では、お父さんの高校の友達がツアーガイドをしていて、その宿にとまりました。愛知県に住んでいたのに、おきなわに引っこして仕事をしていることにおどろきました。

西表島で体験したことやおどろいたことを発表します。

一つ目は、パイナップルの皮を牛にあげたことです。

宿についたらパイナップルを切って出してくれました。食べ終わったら近くの牧場に行ってパイナップルの皮を牛にあげました。いつもは、パイナップルの皮をゴミとしてすてているけど自分がゴミとしてすてている物が牛のエサになることにおどろきました。また宿ではニワトリをかっていてニワトリにも皮などをエサとしてあげていました。ゴミを出さない工夫をしてすごいなと思いました。二つ目は、無人はん売所でパイナップルがたくさん売られていることです。

愛知県の無人はん売所でパイナップルを売られているのは見たことがありません。売られているねだんは百円から五百円くらいで安いのにあまくておいしいのにおどろきました。

おきなわ県の畑ではたくさんパイナップルが作られています。愛知県では見られないけしきでした。愛知県では、お米やキャベツ

があります。おきなわ県ではお米やキャベツは見ませんでした。

三つ目は天気です。

西表島では、カヤックや海遊び、山登りを体験しました。川や海で遊んでいるときは晴れでしたが、山の方へ車で向かっているとき、急に雨がふってきておどろきました。なぜならこんなことを体験したことがなかったからです。

小さな島なのに、一方は晴れでもうかた方は雨がふっていておどろきました。さらに宿に帰ったら道がぬれていませんでした。宿の人に話を聞いたら宿のある地いきは雨がふってなかったそうです。

他にも、西表島には高校がないと聞きました。中学校をそつ業したら、全員が島を出て家族とはなればなれでくらし、石がき島やおきなわ本島の高校に入って、りょう生活をするそうです。それを聞いたとき、おどろいた気持ちと悲しい気持ちになりました。もし自分がそうになったら、家族みんな引っこしたいと思いました。島の子どもたちは、あらためてすごいなと感じました。

わたしは、おきなわに行き、いろんなけしきを体験しました。食べ物や植物のちがいがいい、天気がちがいがいい、その他にも話し方やお店の売っている物のちがいがいいや学校生活など、さまざまながいがあることを知りました。旅行を通して同じ日本の中だけど、たくさんちがいがあつてを学びました。